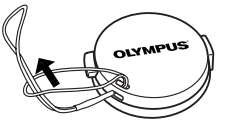
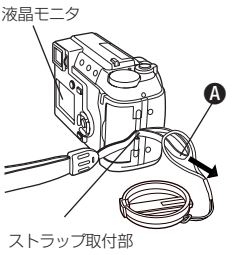
ストラップを取り付ける

1 最初に、レンズキャップにレンズキャップ用ひもを取り付けます。レンズキャップ用ひもをレンズキャップの穴に通し、レンズキャップ用ひものもう一方をくぐらせて引っ張ります。

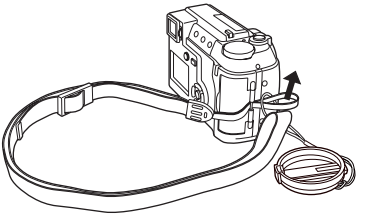


2 ストラップをカメラの液晶モニタ側からカメラのストラップ取付部の金具に通します。

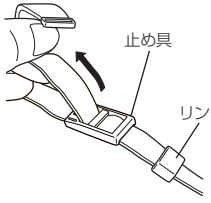
3 ストラップ（Ⓐ）を手順1でレンズキャップに取り付けたレンズキャップひもの輪にくぐらせます。



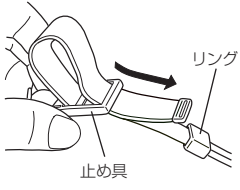
4 レンズキャップ用ひもを通した先のストラップに、ストラップのもう一方（首にかける側）をくぐらせて引っ張ります。カメラのストラップ取付部で、ストラップにゆるみがないように引っ張ります。



5 ストラップについているリングから、ストラップの端を引き出します。ストラップの端を止め具から外し、引っ張って長さを調節します。



6 ストラップの端を止め具に通します。ゆるみがないように引っ張って先端をリングに通します。



注意

- カメラを持ち運びの際には、専用ケースに入れてください。
- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。怪我や事故の原因となることがあります。
- 上の図にしたがってストラップは正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を入れる

電池はCR-V3（当社製LB-01）リチウム電池パック2個、あるいは単3ニッケル水素電池、ニッカド電池、アルカリ電池、リチウム電池4本を使用します。

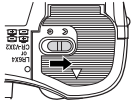
重要：

- **CR-V3は充電式電池ではありません。**
- リチウム電池パックCR-V3のラベルは、剥がさないでください。

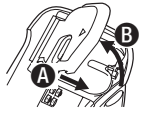
1 **カメラの電源が入っていないことを確認します。**

- 液晶モニタが消灯している。
- ビューファインダが消灯している。
- レンズが出ていない。

2 **電池カバーロックを、≫の方向へスライドします。**

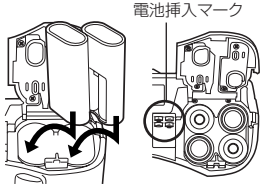


3 **電池カバーを矢印の方向へスライドさせて（Ⓐ）、開けます（Ⓑ）。**



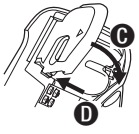
- カバーをスライドさせるときは指の腹を使って開けてください。爪などを使うとけがをすることがあります。

4 **電池の方向を間違わないように挿入してください。**



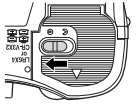
リチウム電池パックをご使用のとき　　単3電池をご使用のとき

5 **電池カバーで電池を押さえながら閉じて（Ⓒ）、カバーの矢印の刻印と逆方向へスライドさせます。（Ⓓ）**



- カバーの端を押すと、カバーが閉まりにくくなります。
- 正しく閉じられると、電池カバーは固定されます。

6 **電池カバーロックを、⊖の方向へスライドします。**



別売の電池やACアダプタを上手に選ぶ

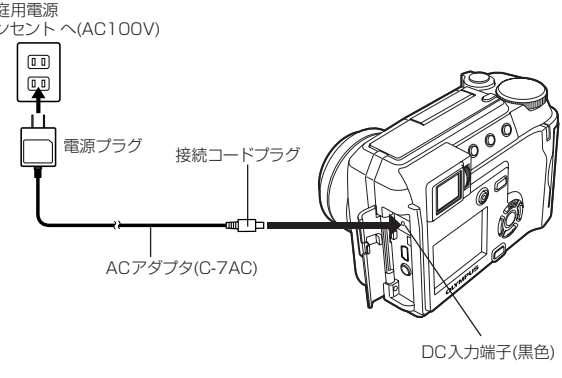
このカメラでは付属の電池の他、次の電池・AC アダプタを使用することができます。用途にあわせてお選びください。

■ **リチウム電池パック**
オリンパス製リチウム電池パック（LB-01）は、寿命が長く旅行などにも便利です。リチウム電池パックは、充電できません。

■ **充電式電池**
オリンパス製ニッケル水素電池（充電器セットBU-40SNH）は、撮影後に充電すると繰り返し使用できるので経済的です。また、低温にも強く、寒い地域でも有効です。

■ **アルカリ電池**
急に電池が必要になったときは、どこでも入手しやすい単3アルカリ電池も使用できます。ただし、銘柄や使用条件によって撮影可能枚数に大きな差が生じます。使用するときは、液晶モニタをこまめに切ってください。

■ **ACアダプタ**
画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なうには、ACアダプタは便利です。
家庭用コンセントを使う場合は専用のACアダプタ(C-7AC)が必要となります。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。また、電源は必ず100Vでご使用ください。



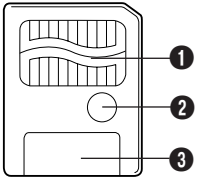
注意

- マンガン電池は使用できません。
- 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。
- 電池を使用してカメラをパソコンに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。ただし、パソコンとの接続中にはACアダプタを抜き差ししないでください。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を消費するため、撮影可能枚数が減少することがあります。
  - 液晶モニタが点灯している。
  - 撮影モードでシャッターボタンの半押しをして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 再生モードで長時間、液晶モニタを点灯する。
  - パソコンとの通信時。
- 「安全にお使い頂くために」およびACアダプタの取扱説明書をよくお読みください。
- カメラに電池が入っている場合も、ACアダプタから電力は供給されます。カメラ内の電池は充電されません。
- カメラの電源が入っているときに、電池やAC アダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や、機能にトラブルが生じる場合があります。

カードについて

このカメラで撮影した画像は、スマートメディアに記録されます。本書では、スマートメディアをカードと呼びます。

スマートメディアとは？
撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。スマートメディアに記録された画像は自由に削除したり上書きしたり、パソコンで加工することができます。



❶接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

❷ライトプロテクトエリア
書き込み禁止状態にしたいときは、ここに付属のライトプロテクトシールを貼ります。

❸インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるようにここに付属のラベルを貼ります。

使用できるスマートメディア
- 付属の16MBの標準カード
- 別売のオリンパス製カード（4・8・16・32・64・128MB）
- 市販の3V (3.3V)カード（4・8・16・32・64・128MB）

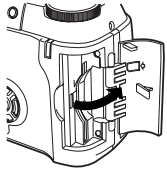
注 意
- 2MBのカードは使用できません。
- 市販の5Vカードは使用できません。
- オリンパス製以外の市販のカード（3V（3.3V）など）や、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。(P. 32、103)

カードのお取り扱い上の注意
- 動作温度：0℃～55℃、保管温度：－20℃～65℃、動作・保管湿度：95%以下
- 保管時・携帯時は、静電気防止ケースに入れてください。
- カードを曲げたり、衝撃を与えないでください。
- カードの取扱説明書（付属）もお読みください。
- カードのコンタクトエリアには直接手を触れないでください。

カードを入れる/ 取り出す

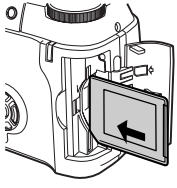
1 **カメラの電源が入っていないことを確認します。**
- 液晶モニタが消灯している。
- ビューファインダが消灯している。
- レンズが出ていない。

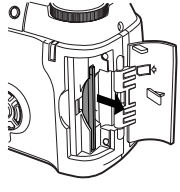
2 **カードカバーを開けます。**



3 **■カードを入れる**
カードを図の方向につきあたるまで差し込みます。
- カードの挿入方向はカードカバーの内側にも記載されています。
- カードが斜めに入らないようにまっすぐに押し込みます。
- カードを表裏逆にしたり、入れる向きを逆にして押し込むと、抜けなくなることがあります。

■カード取り出す
カードをつまんで引き抜きます。





4 **カードカバーをカチッという音がするまで閉じます。**

注意

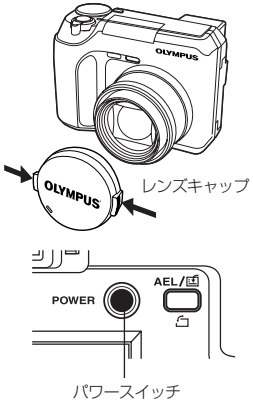
- カメラ作動中やパソコンとの通信中には、絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。**カード内のデータが破壊されることがあります。**
- 破壊されたデータの復旧はできません。

電源を入れる／切る

1 **レンズキャップのつまみを矢印のように押してレンズキャップを外します。**

2 **パワースイッチを押します。電源が入ります。**

- モードダイヤルを▶以外に設定していると、レンズがせり出してきます。
- ビューファインダが点灯します。
- 再度押すと、電源は切れます。
- 日付、時刻が初期状態に戻っているときは液晶モニタに「日時を設定してください」と表示されます（☞P.33）。

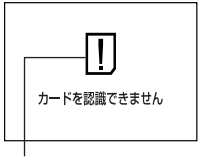
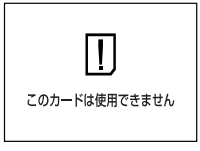
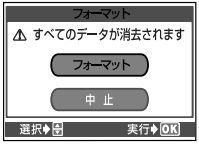


ヒント

- 電源を入れたままで何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、カメラは1分でスリープモード（待機状態）に入ります。ズームレバーやシャッターボタンを操作すると動きます。撮影モード（**P/A/S/M**・🎥）では、スリープモードに入るまでの時間を設定できます(P. 117)。
- 「電池節約モード」をオンにすると、電池を節約しながらカメラを使用することできます(P. 117)。

カードチェック

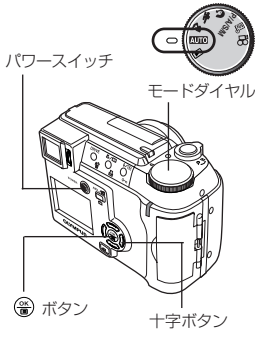
電源を入れると、カードチェックが自動的に行われます。

表示	ヒント
 カード警告マーク	**カードがカメラに入っていない、またはカードが奥までしっかりと入っていません。** → カードを入れます。すでにカードが入っているときは、いったんカードを取り出して入れ直します。
	**カードに問題があります。** → 新しいカードを使用します。
  	**カードがこのカメラのシステムでは読めません。** →カードのフォーマットを行います。 ① **十字ボタンの▽を押して「フォーマット」を選択し、 を押します。** ● 「フォーマット」画面が表示されます。 ② **△を押して「フォーマット」を選択し、 を押します。** ● フォーマットが始まります。フォーマットが終わると、撮影できる状態になります。 ● フォーマットを行なうと、カード内のすべてのデータは消去されます。

日時の設定

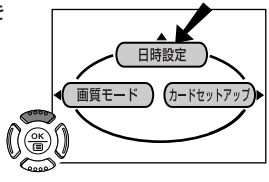
カメラに内蔵されている時計の時間と日付の設定をします。
日時は撮影した画像と一緒に保存されますので、撮影前に正しく設定されているかを再度ご確認ください。

1 **モードダイヤルを AUTO にして、パワースイッチを押して電源を入れます。**
- 電源を入れる前に、レンズキャップは必ず外しておきます。(P. 31)

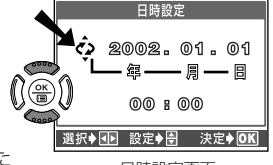


2 **OK を押します。(P. 41)**
- 液晶モニタが自動的に点灯し、トップメニューが表示されます。

3 **十字ボタンの△を押して、「日時設定」を選択します。**



4 **が選択されているときに、△▽を押して日付の順序を選択します。**
- 順序は
  日・月・年、
  月・日・年、
  年・月・日
  の中から選択します。
- この手順以降は、年・月・日に設定した場合の説明をします。

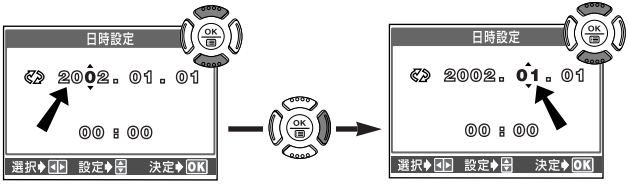


日時設定画面

5 ▷を押して、年(Y)の設定に移動します。

6 △▽を押して、「年」を設定します。「年」が確定したら、▷を押して「月」の設定に移動します。

- 「分」までの設定を同様に繰り返します。
- ◁を押すと、ひとつ前の数値の設定位置に戻ります。



「年」の上2桁は固定されています。

7 (OK)を押します。

- 0秒の時報に合わせ(OK)を押すと、正確に時間を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。

8 電源を切るときは、パワースイッチを押します。

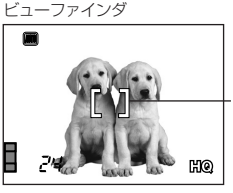
- レンズが元の位置に戻ります。

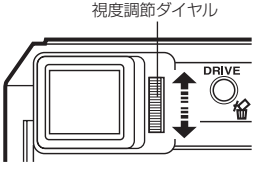
注 意

- 電源を切っても、設定は変更するまで保存されます。
- 電池を抜いた状態で約1時間すると、設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は再度日時の設定を行ってください。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日付けが解除されます。
- 電池消耗などにより、カメラが動作中に停止したようなときにも日時設定が解除される場合があります。

視度調節～ビューファインダを見やすくする

モードダイヤルを AUTO にして、パワースイッチを押して電源を入れます。視度調節ダイヤルをまわし、AFターゲットマークが鮮明に見える位置に合わせます。





カメラを構える

両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。
レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。ズームを使用したときは、画像がぶれやすくなるので、特に注意してください。